

2005年 1月1日 初詣元旦礼拝

司 会 小崎淳広 副牧師
 奏 楽
 祈 禱 高木國男 副牧師
 賛 美 聖歌 584番 (主を待ち望む者は)
 (栄光ある主のみ名)

使徒信条

聖 書 詩篇1篇1～6節

音 楽 ベアンテ・ポーマン師
 (東京交響楽団首席チェロ奏者)

メッセージ 「何をしても成功する」
 大川従道 牧師

賛 美 「主にすぎる我に悩みはなし」(498・献金)
 主の祈り
 祝 禱

「このような人は流れのほとりに植えられた木の
 時が来ると実を結び、その葉もしばまないように、
 そのなすところは皆栄える。」(詩篇1の三)

明けましておめでとうございます

主のあふれる祝福を祈ります



2005年元旦

主任牧師 大川従道・道子
 牧会伝道 スタッフ一同
 責任役員会一同

- ・ 今晚の初詣英語礼拝は19時半より。 オカムラ宣教師 井沢留架姉
- ・ 明日の初詣新年礼拝は9時と11時のみ。 大川師 佐佐木兄(演歌)
- ・ 新年聖会 は、3日の午後2時より。 S.ケーラー師・大川師 (奥野姉他)
- ・ 新年聖会 は、4日の午後2時より。 武井 博師 坪イクラDX
- ・ 第1回目の「宴会礼拝」は9日の午後4時より。 説教は大川従道牧師。
 音楽ゲストにスティーブ・サックス氏と久米大作氏、ジョイフルクワイアー。

石の枕

アメリカの生んだ数少ない賢人の一人、ウィリアム・ジェームスは言う。「今世紀の最も大きな発見の一つは、『人はその心がまえを変えることによって生活そのものを変革できる』ということである。」

私がくりかえし読んでいる本に「積極的考え方の力」(ノーマン・V・ピール著)がある。世界で2千万部売れたというすごい本である。一つ紹介する。

列車で旅行した時のこと。ある朝、六人ほどが洗面室でヒゲを剃っていた。車中で一晩明かした後、このように狭く混み合ったところではよくある例で、この他者同士の一団も楽しげではなく、話もほとんど交わさず、ものを言う者もいなかった。

その時、一人の男が明るい微笑を浮かべて入ってきた。彼は私たち全員に機嫌よく「おはよう」と挨拶した。返ってきたのは、むしろ冷やかで不平混じりの言葉だけだったが、彼がヒゲを剃りかけた時、まったく無意識のうちに楽しそうに鼻歌を歌っていた。一人が皮肉っぽく言いだした。

「朝っぱらから、ずい分幸せそうじゃないか。なんでそんなに陽気なんだい。」

「ハイ。私は幸せです。実は私は幸福であることを習慣にしているのです。」

箴言15の15に「貧しい人の一生は災いが多いが、心が朗かなら、常に宴会にひとしい」とある。これは、幸福の習慣を身につければ、生活は祝宴となり、日々楽しむことができるようになるというのだ。

私大川は、牧会歴40年だが、上記はうなづけることである。私はこの教会に関わりのある人すべてにこれを要求したい。幸福を習慣化しよう。四方が不幸の壁であっても、あなたは幸せを選び取るのである。

今年の標語はすごい。「そのなすところは皆栄える」である。聖書の教えに従い、絶対に成功する人生を選び取る。私はそのために本気で祈ります。

Your Vision Is Your Future.
 We Live To Give, We Love To Give.